

タックスプラン報告書

決算対策

企業経営の基本は、社会から経営資源である『人』『物』『金』を調達し、社会に対し付加価値を提供することにより『利益』を得てそれを『還元』することにあります。還元先は『社会（税金）』『株主（配当）』『役員（賞与）』『社員（待遇）』『社内（留保）』『顧客（商品）』の6つとなります。

『タックスプラン』は単なる節税ではなく、企業活動により得た利益を
(1) 内部留保を厚くし、存続し続けられる企業体力を構築する（社内）
(2) 人・商品・市場等、更なる将来の企業利益を生むための投資をする（社員・顧客）事により、『社会』や『株主』に対する還元とのバランスをとることにあります。

貴社の『12月までの損益』と『決算までの予測損益』によると『当期の税額』は以下のように推定されます。

(単位：千円)

12月までの損益	未経過月の予測損益	当期予測損益	当期予測税額
33,750	11,250	45,000	21,411

この度提案させていただきますタックスプランは以下の概要となります。

- (1) 今後の事業展開のため設備投資を実行（設備投資促進税制の活用）
- (2) 事業保障を目的とした養老保険への加入

以上のプランを実行致しますと『対策実行後損益』及び『対策後推定税額』は以下のように計算されます。

(単位：千円)

対策実行後損益	対策後推定税額	当期予測税額	対策実行効果
26,693	11,423	21,411	-9,988